

北海道森林組合連合会・農林中央金庫・株式会社北海道日本ハムファイターズの連携企画

「読み終えた本をみんなでシェア」で 道産木材を使用した木製しおりプレゼント

北海道森林組合連合会（以下、道森連）および農林中央金庫（以下、農林中金）は道民の方々に森林の大切さや木の温もりを伝える取組みを進めています。今般、株式会社北海道日本ハムファイターズ（以下、ファイターズ）と連携し、ファイターズの読書促進全道キャンペーン「クラブを本に持ちかえて」2022の一環で実施される「読み終えた本をみんなでシェア」で、道産木材を使用した木製しおりをプレゼントすることとしました。

記

1 これまでの取組み

（1）道森連・農林中金の取組み

道森連では「地域森林環境教育等活動支援事業」、農林中金では「国産材利用拡大活動」として、これまでも道内の認定こども園への「木のおもちゃ」寄贈や「道民の森づくりの集い」へのブース出展等を通じて、共同で木育^{※1}活動に取り組んでまいりました。

また、昨年度は書籍販売を核とした大型複合施設「コーチャンフォー」を運営する株式会社リライアブルに「道産木材を使用した木製しおり」を、とまこまい広域農業協同組合に「道産木材を使用した木製しおり」を贈呈し、道民の方々に道産木材の温もりを楽しんでいただける機会を提供してまいりました。

※1 木育とは北海道発祥の言葉であり、子どもをはじめとするすべての人が木を身近に使っていくことを通じて、人と木や森とのかかわりを主体的に考えられる豊かな心を育むことです。

（2）ファイターズの取組み

バットにはメイプルやアオダモの木が使われています。中でもバットに最適なアオダモは北海道に自生する樹種ですが、人工造林は限定的なため、将来的には資源が枯渇すると言われています。この状況を踏まえ、ファイターズでは2014年からアオダモの植林活動を進めてまいりました。直近では今年8月に植林する予定としています。

また、道内に自生し、比較的資源量が豊富な樹種として、ダケカンバがあります。2019年9月のファイターズ公式戦で、田中賢介さんが「道産ダケカンバ製バット」を使ってヒットを放つなど、道産木材の利用

にも取り組んでまいりました。

2 本件企画の背景

(1) 課題認識

森林は「水源の涵養」「国土の保全」「地球温暖化の防止」「木材を始めとする林製品の供給」等の多面的機能を有しており、国民生活および国民経済に大きく貢献しています。これらの森林の持つ機能を持続的に発揮していくためには、「植えて育てて、伐って使って、また植える」という森林資源の循環利用が重要です。

また、北海道ではトドマツやカラマツなどの戦後植林した人工林が成長し、本格的に利用可能な時期を迎えていることから、身近な道産木材を積極的に利用する必要があります。足元では「ウッドショック」で追い風ですが、2020年度の道産木材自給率は7割に満たない水準です。何より、建築材に限ると2割程度の低水準であり、道産木材の活用を拡大する余地が残されています。

(2) 政府・北海道の取組方針

北海道では2020年3月に「2050年までに温室効果ガス排出量の実質ゼロ」を目指すことを表明し、脱炭素化と地域の活性化や持続可能な地域づくりを同時に進めることで、「ゼロカーボン北海道」の実現を目指しています。政府も2020年10月に2050年カーボンニュートラルの実現を目指すことを宣言しており、森林の二酸化炭素吸収量の確保や炭素の貯蔵効果がある木材の利用拡大を通じた二酸化炭素排出量の削減への貢献に期待がかけられています。

また、林業・木材産業の成長産業化に向けた取組みを一層推進するとともに、森林づくりを道民全体で支える機運の醸成を図るため、北海道では全国に先駆けて2002年3月に北海道森林づくり条例を策定しました。条例に基づき、100年先を見据えた森林づくりに関する施策を推進するため、「北海道森林づくり基本計画」が策定されています。直近2022年3月に策定した「北海道森林づくり基本計画」では長期指標として、2041年度の道産木材の利用量540万^m（2019年度比+94万^m）、木育に関心がある道民の割合80%（2021年度比+44%）を増やすことを目指しています。

(3) 本と木のかかわり

本に使われる紙の原料には木が使われており、紙を使うことも森林資源の循環利用に繋がります。森林資源の循環利用の重要性をより分かりやすく道民の方々に伝えたいという想いから、今回「読み終えた本をみんなでシェア」での道産木材を使用した木製しおりプレゼントという三者連携企画が実現しました。

3 本件企画内容

道森連および農林中金はファイターズに「道産木材を使用した木製しおり」を贈呈し、期間中にファイターズの読書促進全道キャンペーン「グラブを本に持ちかえて」2022の一環で実施される「読み終えた本をみんなでシェア」にご参加いただいた方を対象に、数量限定・先着順にて「道産木材を使用した木製しおり」をプレゼントいたします。書籍のお供に長く「道産木材を使用した木製しおり」をご利用いただき、道産木材の温もりを楽しんでいただけることを期待しています。

企画内容の詳細につきましては、以下のとおりです。

<「読み終えた本をみんなでシェア」企画内容詳細>

実施期間	2022年8月3日(水)～2022年9月28日(水) ※追加日程が組み入れられた場合にはシーズン最終戦まで実施。 ※「道産木材を使用した木製しおり」のプレゼントは数量限定・先着順。
場所	札幌ドーム 1階コンコース北側・南側総合案内(2カ所) ※ファイターズのホームゲーム(札幌ドーム開催)の開場から7回終了まで
プレゼント内容	道産木材を使用した木製しおり (5樹種:トドマツ、シラカバ、メジロカバ、シナノキ、クルミ) ※プレゼント内容の詳細につきましては後添資料をご参照ください。
プレゼント方法	本を寄贈いただいた方を対象に、道産木材を使用した木製しおりを1枚、その場でプレゼントいたします。



4 今後の取り組み

今後も道森連および農林中金は森林の大切さの発信や、道産木材の利用拡大活動を含む道内森林の「植えて育てて、伐って使って、また植える」という資源の循環維持を通じて、森林の「国土の保全」、「水源のかん養」、「生物多様性の保全」、「地球温暖化防止」、「木材の生産」等の多面的機能の発揮を図り、地域の振興と道民の豊かな生活づくりに貢献していきます。

以上

【本件にかかるお問合せ先】

北海道森林組合連合会(熊野、菊森)	011-621-4293
農林中央金庫札幌支店(松嶋、小田)	011-241-4218
株式会社北海道日本ハムファイターズ(見田)	0570-005-586

株式会社北海道日本ハムファイターズのホームページは以下のとおりです。

<https://www.fighters.co.jp/news/detail/00004236.html>

【ご参考】

北海道森林組合連合会について

住所	札幌市中央区北 2 条西 19 丁目 1 番地 9
代表者	有末 道弘
設立年	1942 年 2 月
事業内容	道内 78 森林組合の連合組織として、森林組合と一体となって『森づくり・地域づくり・人づくり』に貢献し、健全な森林を守り育てるための活動を実施。
関連 URL	https://www.doshinren.or.jp/

農林中央金庫について

住所	東京都千代田区大手町一丁目 2 番 1 号
代表者	奥 和登
設立年	1923 年 12 月
事業内容	JA（農協）・JF（漁協）・JForest（森組）などからの出資および JA バンク・JF マリンバンクの安定的な資金調達基盤を背景に、会員や農林水産業者、農林水産業に関連する企業などへ貸付を行うとともに、最終的な運用の担い手として国内外で多様な投融資を行い会員へ安定的に利益を還元。
関連 URL	https://www.nochubank.or.jp/

株式会社北海道日本ハムファイターズについて

住所	北海道札幌市豊平区羊ヶ丘 1 番地
代表者	川村 浩二
設立年	2003 年 8 月
事業内容	プロ野球球団「北海道日本ハムファイターズ」を運営。スポーツと生活が近くにある、心と身体の健康をはぐくむコミュニティを実現するために、地域社会の一員として地域社会との共生をはかることを企業理念としている。
関連 URL	https://www.fighters.co.jp/

北海道日本ハムファイターズ・北海道森林組合連合会・農林中央金庫の連携企画

道産木材を使用した木製しおりプレゼント

この度は大切な本の寄贈を誠にありがとうございました。

道産木材を使用した木製しおり5種類から、ランダムで1枚プレゼントいたします。
ぜひ、道産木材の温もりを感じていただき、長くご愛用いただけますと幸いです。

～今回プレゼントする道産木材のしおりのご紹介～



樹種：トドマツ（針葉樹）
特徴：道内で最も多く植林
用途：建築材、梱包材等



樹種：シラカバ（広葉樹）
特徴：道内で最も身近な樹木
用途：工芸品、フローリング等



樹種：シナノキ（広葉樹）
特徴：全国の山地に生育
用途：建築材、彫刻、合板等



樹種：メジロカバ（広葉樹）
特徴：道内の山岳地に生育
用途：高級内装材、家具等



樹種：クルミ（広葉樹）
特徴：果実は食用やタイヤ素材
用途：家具、フローリング等

＜本チラシのお問合せ先＞
北海道森林組合連合会
011-621-4293
soumu-shidou@doshinren.or.jp

農林中央金庫札幌支店
011-241-4218
e1_sapporo@nochubank.or.jp

～ロゴマークのご紹介～



「HOKKAIDO WOOD」は道産木材製品のブランド名称です。北海道の森林で産出された木材を用いて、道内で加工された製品を道産木材製品としております。



公式HP



森林組合（JForest）は、全国各地で森林づくりと持続可能な木材生産を進める協同組合です。道内では78森林組合と北海道森林組合連合会が活動しています。



道森連インスタ

～道産木材とファイターズの関わり～

バットにはメイプルやアオダモの木が使われています。中でもバットに最適なアオダモは北海道に自生する樹種ですが、人工造林は限定的なため、将来的には資源が枯渇すると言われてしています。この状況を踏まえ、ファイターズは2014年からアオダモの植林活動を実施しております。

また、道内に自生し、比較的資源量が豊富な樹種として、ダケカンバがあります。2019年9月には田中賢介さんが「道産ダケカンバ製バット」を使ってヒットを放ったことは記憶に新しいところです。



道産木材バットでのバッティング

道産木材利用の重要性

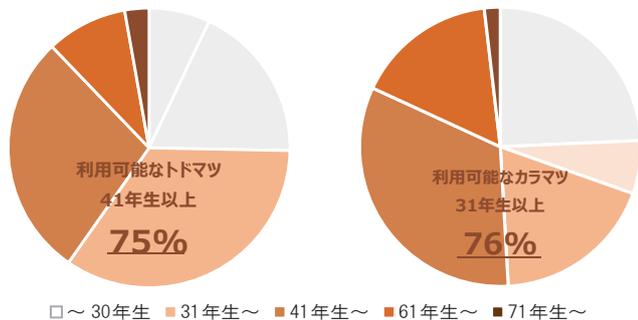


出典：「令和3年度 森林・林業白書」（林野庁）

日本は国土面積の3分の2を森林が占める世界有数の森林国です。「国土保全」「水源かん養」「地球温暖化防止」などの森林の持つ多面的機能を継続的に発揮させるためには、「植えて育てて、伐って使って、また植える」というサイクル（森林資源の循環利用）が重要となります。

利用可能な時期を迎えた人工林

針葉樹人工林の齢級別面積の割合（北海道）
トドマツ カラマツ



資料：北海道水産林務部「北海道林業統計（R2）」をもとに作成

北海道総面積834万haのうち、森林面積は554万haを占めます。戦後植林したトドマツやカラマツなど人工林が成長、本格的に利用可能な時期を迎えています。身近な道産木材を使い、北海道の森林資源循環を促進する必要が高まっています。

道産木材自給率

道産木材自給率（北海道）



資料：北海道水産林務部「北海道林業統計（R2）」をもとに作成

足元では「ウッドショック」で追い風ですが、2020年度の道産木材自給率は7割に満たない水準です。何より、建築材に限ると2割程度の低水準です（輸入材や本州材が多い）。住宅や家具等の購入にあたり、道産木材製品をご検討いただくと幸いです。



「THE LODGE」完成予想図

ファイターズ新球場「エスコンフィールドHOKKAIDO」 2023年春開業予定！

北広島市の北海道ボールパークFビレッジ内にファイターズ新球場「エスコンフィールドHOKKAIDO」が開業します。新球場を中心に商業施設・宿泊施設・レストラン・マンションなども併設。なかでも「THE LODGE」は、道産カラマツや道南スギを建物の外装に使った商業施設となります。ぜひご来場いただき、建築材としての道産木材もお楽しみください。